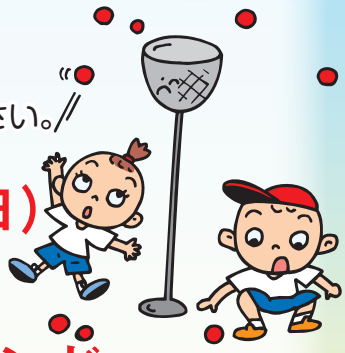
# ODA 那覇身協だより

100号
発行 社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会
編集 一般社団法人 那覇市身体障害者福祉協会
〒902-0061 那覇市古島 2−14−4 那覇市障がい者福祉センター
電話(098)885-0420(FAX 共通)
頒価20円は会費に含みます

## 第34回 那覇市障がい者運動会

今年も運動会の季節がやってきました。
みんなでつどい、心地いい汗をながしましょう。
誰にでもできる競技を用意しています。お気軽にご参加ください。



**とき** 平成28年11月13日（日）
午前9時50分～午後３時（雨天中止）
受付　午前9時30分～

**ところ** 那覇市立開南小学校グラウンド
※駐車スペースがないため、バス、タクシー、モノレール等をご利用ください。

### プログラム（競技種目）

| | |
|---|---|
| ①パン食い競争 | ⑧車椅子スラローム |
| ②混合リレー | ⑨音感競争 |
| ③児童かけっこ | ⑩８００Ｍリレー |
| ④風船割り | ⑪ボール運び競技 |
| ⑤グラウンドゴルフリレー | ⑫ふれあいダンス |
| ⑥玉入れ | ⑬つなひき |
| ⑦フライングディスク | |

ボール運び競技

那覇市から案内がない障がい者は、右の引換券を運動会会場へご持参ください。弁当・飲物・参加記念品と引換えて運動会へ参加できます。
競技に出場される場合は、体調を整えてご参加ください。
※障がい者手帳（身体・知的・精神）をご持参になれば、どなたでも参加できます。

**弁当・飲物・参加賞品 引換券**

〈目次〉
■ 那覇市障がい者運動会のお知らせ…… Ｐ１
■ 那覇市障がい者福祉センター…… Ｐ２
■ 障害者就労支援センターさわやか…… Ｐ３
■ 障がい者相談支援センターすこやか…… Ｐ４
■ 一般教養講演会報告…… Ｐ５
■ みんなの声…… Ｐ６・７
■ 那覇市障がい者美術展作品募集のお知らせ … Ｐ８
■ 編集後記・会費納入のお願い …… Ｐ８

ホームページアドレス　http://nahashin.jp/



「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の助成を受けて発行しています。

# ★ 那覇市障がい者福祉センター ★

## 風船バレーボール大会に出場しました！

去った８月27日（土）、浦添市民体育館において風船バレーボール大会が開催され、センター利用者で参加希望者を募り、６チームが参加しました。今回は何名かの利用者のご家族の方も一緒に参加し、大人数での出場です。地元の中学生チームやボランティア・役員チーム、センターチームと参加団体は少なかったのですが、中学生チームとの交流を深めながら皆さん風船バレーを楽しんでいました。

センター同士での試合の際には、職員もお母さん方も、ボールを追いかけて滑り込んだりと頑張っていました。試合の結果は、中学生チームの若さに負けて今回は優勝は出来なかったけれど、みんなで楽しい一日を過ごすことが出来ました。一緒に参加していただいたご家族の皆さんと職員の翌日の筋肉痛は大変だったようですが、ご家族の皆さんとも交流ができてとても嬉しく思いました。次回も、筋肉痛に負けずにみんなで楽しく参加したいと思います！

## 南大東中学校ボランティアスクール

去る８月２日（火）、南大東中学校より、夏休みボランティアスクールで８名の学生が一日ボランティア体験を行いました。センターの説明や入浴室の見学、車椅子介助の方法等を学び、各教室の見学をしたり、利用者と一緒にスポーツやレクリエーションに参加して楽しく交流を深めました。利用者の皆さんも、若い学生たちとの触れ合いを毎年楽しみにしています。また来年もたくさんの人がセンターへ来てくれるのを待っています！

## こころの健康フェスタ in イオン那覇店

去る９月１日（木）、２日（金）、イオン那覇店にて「こころの健康フェスタ」が開催されました。センターでは２日間、リズム体操教室のメンバーが余興で出演。会場のお客さんも一緒に「茶摘み」「金太郎」「遊び庭」「東京ラプソディ」の曲に合わせて体操を行いました。当初は１日だけの出演でしたが、反響が大きく、２日目もアンコール出演が決定！みんなビックリでしたが、他の利用者も一緒に見学・体操に参加して、会場は盛り上がっていました。これからも依頼があれば、どんどん参加していきたいです！



「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の助成を受けて発行しています。

障害者就労支援センター

# さわやか

## 平成28年度　さわやか講座

去った8/20（土）にさわやか講座を行ないました。島尻、西崎、大平の各特別支援学校・沖縄高等特別支援学校から９名の生徒の方と、12名の保護者や先生方が参加してくださいました。講座の内容としては所長講話に始まり、ビジネスマナー・面接練習・お野菜を使ったピッキングを体験していただきました。生徒の皆さんは初めて経験する講座で緊張しながらも、楽しみながら真剣に取り組んでいました。最後は頑張った証に修了証書を授与し、みんなで記念撮影。今後の進路のお役に立てることを願っております。

## 回転寿司スシロー天久店招待

9/5（月）に、回転寿司スシロー天久店オープン記念試食会に招待していただきました。さわやかからは約20名の訓練生・支援員が参加し、スシローのお寿司やスイーツなどとても美味しく試食しました。訓練生の中には、回転寿司が初体験の方もいましたのでとても貴重な時間となったことでしょう。食べ終わったあとの訓練生の表情はとても満足気でした。ご招待いただきました株式会社あきんどスシロー様、おいしいお寿司を提供してくださりありがとうございました!!

## 平成２８年度 合同就職面接会 ｉｎコンベンションセンター

『平成28年度障がい者就職面接会』にさわやか一同参加してまいりました。今回は、50社の企業がブースを出していました。さわやかからは３名の訓練生がそれぞれ３社ずつ、希望している企業にて面接を受けられました。本番までの間に、必要な書類作成、所長・支援員と何度も面接の練習を重ね、面接会に挑みました。本番は、緊張しながらも練習の成果は出せたのではないかと思います。面接会に参加しなかった見学組の訓練生も、事前に求人票にて希望する企業を見つけ、その企業に向けた書類作成、下調べ、模擬面接を行なってきました。今後面接を受ける際のイメージトレーニングができたのではないかと思います。さわやか訓練生の皆様、同行していただいたジョブサポーターの皆様、本当にお疲れ様でした。

就職面接会に参加したことで、より一層働くモチベーションが高くなったことだと思います。この経験を活かし、今後も一緒に頑張っていきましょう。

## 就職者紹介

医療機関
介護職
Ｈ・Ａさん

**就職おめでとうございます！**

お気軽にお問い合わせ下さい♪

## 訓練生募集中！

あなたの「働きたい！」「働き続けたい！」を支援します。

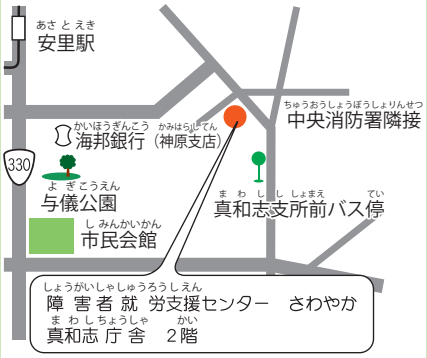
★就職したいけど・・・
　・自分に合う仕事がわからない・やりたい仕事が見つからない

★就職しているけど・・・
　・仕事を続けていけるか不安・転職を考えている

★就職に向けて・・・
　・相談や訓練・実習をしたい

そうお考えの方は、ぜひ一度さわやかに
お電話もしくは来所見学にいらして下さい！**相談は無料**です。

**ＴＥＬ：833-7755　　ＦＡＸ：833-7785**






「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の助成を受けて発行しています。

# 障がい者相談支援センター　すこやか

## 便利なオキカを使おう！

### Q. オキカって何？

小銭を持ち歩かなくても、カードにチャージ（入金）することで、沖縄本島内路線バスとゆいレールに乗車できるICカードです。
障がい者用オキカの場合、カードをタッチするだけで自動的に割引運賃（半額）が精算されます。
※場合によっては（運賃箱の故障等）運転手や駅係員より提示を求められる場合があるので、障害者手帳の携帯をお願いします。また、提示を求められた場合は、速やかに提示いただきますようご協力をお願いします。

### Q. どこで販売しているの？

ゆいレール各駅の窓口。バスの各営業所。
販売価格には、1,000円 / 2,000円 / 3,000円 / 4,000円 / 5,000円 / 10,000円があり、販売価格には、デポジット（カードの使い捨て防止のための預り金）として５００円が含まれます。
　例）販売価格 １，０００円 ― デポジット ５００円 ＝ 利用可能額 ５００円

### Q. 購入に必要なものは？

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれか
※障がい者用オキカは、有効期限があります。毎年誕生日を有効期限とし、年に一度の更新が必要となります。ただし、初回購入後に限り、次々回の誕生日までとなります。
更新せずに有効期限を過ぎてしまいますと、利用できなくなります。
＜更新の手続き＞
誕生日の一か月前から手続きが可能。各交通事業者窓口で受付けます。利用している障がい者用オキカとご自身の障がい者手帳をお持ちください。

### Q. カードへのチャージ（入金）は、どうやってするの？

購入後、カードへのチャージ（入金）は、ゆいレール改札口前にある券売機や窓口、またはバス営業所・バス券売所・運賃箱でチャージ（入金）することができます。

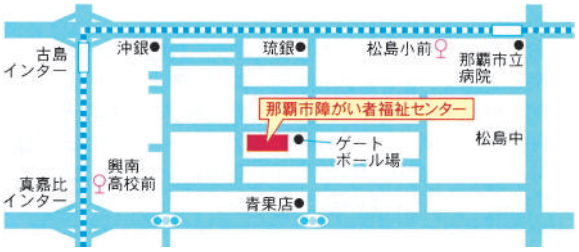
### ※介護者の方について

介護者の方の割引は、記名人ご本人と同伴の場合のみ適用となります。

## お気軽に相談してください

訪問による相談　電話による相談　来所による相談

◆受付時間／月～金（午前９時～午後５時）
※来所相談の方は電話でご予約下さい。
◆受付場所／（一社）那覇市身体障害者福祉協会
障がい者相談支援センターすこやか
◆問い合わせ／**８８４－３８７２**（FAX 兼用）
◆相談員／知花とも子、安里旬江、金城祐美
※相談は無料で個人の秘密は固く守ります。




障害別に相談が受けられます。

| | |
|---|---|
| 肢体障害　大城一晋　連絡先 090-9782-7162 | |
| 視覚障害　仲川福俊　連絡先８３２-３４５３ | 腎臓障害　宮城　輝　連絡先８８７-０２０１ |
| 肢体障害　上里直子　連絡先８３６-６０６９ | 心臓障害　宮城愛子　連絡先８８５-９４４４ |

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の助成を受けて発行しています。

# 「障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例」の講演会について

昨年７月１２日（日）に開催した講演会の講演録を９９号に引き続き今回も掲載いたします。

１年間を通して条例の目的というのは障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくりの為であり、相談活動、啓発活動、双方に力を入れて行く必要があります。一般の県民には障害のある方々の抱えている障壁を知ってもらう。障害のある方々には生きづらさをしっかり声を上げて伝えていただく。両方の歩み寄りや努力が必要になります。また、啓発活動については県民全体的に行っていくという場合に対象者別に戦略的なアプローチが必要になって来ると思います。

とくに企業者に関してはビジネスチャンスをアピールして行く。障害のある方は人口の約一割を占めていてシェアとして決して少なくない。障害のある方も消費者であり、労働力でもあることから障害のある人を取り込まないビジネスモデルは一割損している。

また、障害のある人に配慮したバリアフリーの商品・サービスは商品価値が高く売れるのは当然で、観光立県を目指す本県では旅行先として選ばれることが重要であり、障害のある人のツーリングには必ず介助者や家族がついて来るので、経済効果は決して少なくない。そのことを周知をして行きたいと考えています。また、一般の県民についてはどのようにしたら興味をもって受けとめてもらえるかというアピールが必要だと考えております。

障害のある方が一番望んでいることは、差別の禁止ではなく障害の理解であると条例を作る前のアンケートにもありましたが、多くの県民は善良な方々で差別をしている意識はなく無理解から来るものが多くなっています。この条例を作る際に差別事例が６４０件集められましたが、この紹介などを通して障害のある人が何を感じているか理解を深めてもらうようなアプローチをして行く必要があると感じています。

また、共生社会の実現というのは障害の特性を知って相手のことを理解すること。さらに、障害のある人もない人も出来ることをして行く努力をする。条例というのは共生社会のシンボルで周知啓発の一つのツールであります。ただ、人の考え方、思想という所に啓発していくものなので、常識を変えるには教育の力というのも一方では重要で、共生社会の実現には子供たちが大人になるまで長期間かかるということや、学校教育も大切なことだと思います。この条例は決して人を罰したり、裁くことではなく、考えてもらう。気づいてもらう。そういうことがお互いの理解につながる。そして、気づきを持つ人々が増えることで社会は変わって行く。今回、この講演会にご参加の皆さまが、こういう条例があることを一人ひとりが広める努力することが必要となりますので、今後とも関心を寄せていただきますようご協力をお願いします。

この講演録は今回で終了となります。１年間に亘りご購読いただきありがとうございました。



「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の助成を受けて発行しています。

# みんなの声

**今回は、身協だより発行一〇〇号を記念して、二ページの拡大版です。四人の方に書いていただきました。**

## 私を元気づけてくれたもの

肢体部　上里直子

私は、三年前に肩と腕の骨をずらしました。一般の人なら痛くないそうですが、私には筋緊張があるため筋肉が骨を圧迫し、何倍も痛みがありましたが外出が大好きな私は頑張って外に出ていました。ところが、今度は二年前に玄関のドアに右足首を強打して未だに痛みは治らず、とうとう外出も控える様になってしまいました。

そんな私の家に訪問診療が入るようになり、女性のドクターが私とコミュニケーションを図るために、なぞなぞやクイズを出してくるのです。最初は、変わったドクターだなと思いましたが、私の方が負けてばかりいると、悔しくなってきて必死で考えるようになりました。

みなさんも、頭の体操と思って何問かやってみて下さい。

＊今にも倒れそうなおばあさんが大きな荷物を抱えて電車に乗って来ました。ところが、誰も席を譲ろうとしませんでした。なぜでしょう？

＊双子の姉妹がいました。二人共太っていたので、姉は一生懸命ダイエットして三キロ痩せました。ところが、妹は何もせずに三キロ痩せました。なぜでしょう？

＊ケーキ屋さんは、必ず二十二日にショートケーキを作ります。なぜでしょう？

みなさん頭の体操は出来たでしょうか？私は、こうしてドクターとの掛け合いの中で昔の自分が取り戻せた気分になっています。みなさんもカラオケなど何かを見つけて楽しんで下さい。

ちなみに答えは、みなさんで考えてみて下さいね。

## 第三種郵便の取得に感謝

事務局　宮城愛子

平成六年十一月のある日、当協会の事務局に沖身協、リハビリ友の会、脊髄損傷者連合会、心臓病の子供を守る会、那覇身協の五団体が集まりました。

その日のテーマは、県内の障害者団体の第三種郵便の認可の取得についてでした。機関紙を発行し会員を増やす活動が必要だが、各障害者団体は財政難の為、通信費を捻出することが出来ないというのが悩みタネでした。当協会でも名簿にある会員約三千五百人に「身協だより」を郵送するだけで一通八十円かかるため、合計二十八万円となり、年一回の発行が精一杯でした。第三種郵便の認可が得られたなら一通十五円で郵送できる為、五万二千五百円で済むのです。沖身協の新垣課長から、思い切って第三種郵便物の認可の手続きをしたいが、沖身協が二十万円負担するので、各団体は郵送料四万円と、合計五百人の名簿の提出に協力してほしい。また、名簿をもとに、郵政省が五ヶ月間に亘って、間違いなく機関紙が届いているのかどうかのチェックを行うというものでした。

その後、各団体が機関紙を五百人の方々に郵送し、平成七年五月十日付で晴れて第三種郵便の認可を得ることができたのです。



「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の助成を受けて発行しています。

お陰で、ＯＤＡ（沖縄県身体障害者福祉協会の略）の通巻番号で各団体が機関紙を郵送することができるようになり、第三種郵便の取得が各団体の運営費の削減に貢献したことはいうまでもありませんが、第三種郵便の恩恵を一番に受けている団体は当協会に他なりません。

当協会では、現在、年間約六回身協だよりを発行し、会の情報を会員に提供することができます。

機関紙発行一〇〇号を記念するにあたり、沖身協には心からお礼を申し上げます。

## 那覇身協だより一〇〇号記念号に寄せて

視覚部　渡嘉敷　綏　秀

那覇身協だより創刊一〇〇号記念おめでとうございます。思えば二十数年前、国際障害者年十年の検証委員会を那覇市から本会に委託され、十数回に渡る検証会議の中から、「身協だよりが欲しいねえ」の声が聞かれ、聴覚部の仲村真理子さん、肢体部の仲根建作さん、視覚部の渡嘉敷綏秀（私）の三人が編集に関わり、本誌を創刊しました。私たちが編集に関わったのは五、六号程度だったかと思われます。

その後、現在の編集体制が確立され、今号に至っていると思われます。本誌を通し情報を共有して、仲間づくり、組織の強化が図れればいいものと、新たな一〇〇号を目指し、紙面の充実を心より祈念いたします。

さて、障害者差別解消法が施行され、本県でも、「障害のある人もない人も、ともに暮らせるまちづくり条例」が施行されました。法律や条例が施行されても、地域や職場、学園に、障害者の姿が見えなければ、この法律や条例は意味をなしません。私たちが不自由を克服し不便さを解消する要求を実現しなければ、この法律や条例は「仏作って魂入れず」のことわざ通りになってしまいます。

私たち障害者が社会への「全面参加と平等」の実現を目指し、邁進していくことに尽きるものと考えます。ともに頑張りましょう。

## 那覇市障がい者福祉センターの思い出

肢体部　屋富祖　忠　治

私は、那覇市障がい者福祉センターが開所したての頃に通っていました。いろいろな教室に参加していましたが、その中で思い出に残っているのが、琉舞教室の様子です。琉舞教室には聴覚障がい者がいました。三味線の音も聞こえない、太鼓の音も聞こえないのにどうやって踊るのかという話になりました。また、三味線教室の當銘先生が演奏してくださることになりましたが、當銘先生は視覚障がい者でした。目が見えない、音が聞えない者同士、お互いのコミュニケーションを図ることが問題になり、肢体障がいの私が三味線を弾き、故知花顧問が太鼓の演奏に加わり、サポートすることになりました。

練習では、知花さんが目で私に合図し、私が當銘先生に伝えて先生が歌い始めました。歌のリズムが速くなったら、それも伝えながら、私も側で演奏していました。聴覚障がい者は、太鼓の振動を感じるのと、両端に肢体障がい者が踊っていたので、その方たちを見ながら、踊っていました。

他市町村の身協の方は、私たちの話を聞いて、まさか視覚障がい者と聴覚障がい者が一緒にできるはずがないと笑っていましたが、総会のアトラクションの舞台で踊りを披露したのを見て、とても驚いていました。練習には苦労しましたが、舞台で成功してみんなとても喜んでいました。今でもそのことをよく覚えています。

障がいがあると、一人では何もできませんが、視覚、聴覚、肢体障がいの三障がいが力を合わせたら、一人前のことができると思います。障がいのある人は、一緒に生活していく中で、普通の人が気づかないことに気づくことがあります。言葉で教えるのではなく、自然とわかるものです。うまくかみ合えば、足りないところを補い合い助け合いながら、社会の中で生活していくことができると思います。それが障がい者のチームワークなのではないかと思います。



「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の助成を受けて発行しています。

# 第15回 那覇市障がい者美術展
## 出品団体（事業所）・個人作品募集

**今年で15回目を迎える那覇市障がい者美術展**
**年々、出品者も増え、個性豊かな作品が多く出品されています**
**今年も皆さんからの作品をお待ちしています**

**募集期間：**平成28年11月21日（月）～平成29年1月31日（火）必着
**作品部門：**絵画・陶芸・工芸・書道・写真（１人合わせて１点以内）
**応募方法：**「出品申込書」を各所属団体（事業所）へ提出するか、下記運営事務局へ直接お申込み下さい。

（運営事務局）〒902-0061　那覇市古島２－１４－４
那覇市身体障害者福祉協会
TEL　０９８－８８５－９４４４
FAX　０９８－８８５－０４２０

## 美術展は、平成29年3月に開催予定

### お引越しをされる会員の皆さまへ

会員の皆さまに身協だよりを発送した際、返送されてくる場合があります。
転居される場合は、事務局まで新しい住所をご連絡ください。**TEL＆FAX 098-885-0420**

### 編集後記

そろそろ涼しくなってほしいのですが、天の神様には私の願いは届かずまだまだ暑い日が続いています。「風よ吹けー」と叫びたいのですが、１０月と言えば各地で運動会や色々な行事が予定されており、勝手なことばかり言ってはいられませんね。まぁ、「しばらくの間は台風や大雨さんにもおとなしくしていてね」と祈っておきましょう！

総務広報委員長　上 原 慶 子

### ☆会費納入のお願い☆

会員の皆さまには、いつも会運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。会費の納入は、同封の振込用紙で、お近くの沖銀・琉銀からお支払い下さいますよう、よろしくお願いいたします。

正会員：那覇市に在住する身体障害者・・・1,500円
賛助会員：当協会の活動に賛同する者
・・・・・・１口　1,500円



「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の助成を受けて発行しています。